

令和7年度 学校評価 前期 主な項目の比較

教職員と児童、保護者のギャップは赤

		評 価 の 観 点	おおむねよい	あまりよくない
学 校 生 活	児童	学校が楽しい。	89.7%	10.3%
	保護者	子供は、学校生活が楽しいと感じている。	95.3%	4.7%
	保護者	学校は、子供の活躍する場がたくさんあり、教育内容が充実している。	95.3%	4.7%
	教職員	児童一人一人が活躍する場面を設けている。	100.0%	0.0%
		評 価 の 観 点	おおむねよい	あまりよくない
自 学 校 考 え 目 標 子	児童	学校のきまりや、やくそくを守っている。	95.9%	4.1%
	保護者	子供は、ルールを守り、適切に電子メディアを利用している。	78.1%	21.9%
	教職員	新一小よい子のやくそくにに基づき、同一步調で指導している。	100.0%	0.0%
	児童	学校で、学習したことがわかる。	94.8%	5.2%
	保護者	子供は、学習したことが身に付いている。	90.6%	9.4%
	教職員	児童は、学習内容が身に付いている。	90.9%	9.1%
	児童	進んで自主学習に取り組んでいる。	73.2%	26.8%
	保護者	子供は、進んで自主学習に取り組んでいる。	57.8%	42.2%
	教職員	自主学習等、学習が習慣化されている。	90.9%	9.1%
	教職員	児童が授業に主体的に取り組めるよう、指導方法を工夫している。	100.0%	0.0%
	児童	学校で火事や地しんがおきたとき、どうしたらよいか知っている。	95.9%	4.1%
	保護者	学校は、緊急時や問題発生時、適切に対応している。	93.8%	6.3%
	教職員	非常災害対策の計画が立てられ、分担は明確である。	100.0%	0.0%
		評 価 の 観 点	おおむねよい	あまりよくない
仲 よ 学 校 す 目 標 子	児童	仲の良い友だちがいる。	96.9%	3.1%
	児童	友だちと話をしたり、遊んだりするのが楽しい。	96.9%	3.1%
	保護者	子供は、仲のよい友だちがいる。	92.2%	7.8%
	保護者	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。	98.4%	1.6%
	教職員	児童一人一人をよく理解し、指導している。	100.0%	0.0%
	児童	友だちに、やさしくしている。	100.0%	0.0%
	保護者	子供は、友だちに優しく接している。	96.9%	3.1%
	教職員	人権教育の視点（外国人、障害者、LGBTQ、いじめ等）を意識して教育活動を行っている。	100.0%	0.0%
		評 価 の 観 点	おおむねよい	あまりよくない
健 康 で 学 校 目 標 子	児童	進んで外で遊んだり、運動したりしている。	88.7%	11.3%
	保護者	子供は、帰宅後や週末に外で遊んだり運動したりしている。	90.6%	9.4%
	教職員	体育や休み時間を通して、児童は主体的に運動に親しんでいる。	100.0%	0.0%
	児童	給食をバランスを考えて食べている。	94.8%	5.2%
	保護者	子供は、朝食や夕食をしっかりと食べている。	96.9%	3.1%
	教職員	児童の健康の保持増進のため、健康教育を実践している。	100.0%	0.0%
	児童	自分の歯にあった歯みがきをしている。	95.9%	4.1%
	保護者	子供は、歯・口の健康を意識して、朝夕歯みがきをしている。	85.9%	14.1%
	教職員	歯と口の健康維持のため、日々の指導を適切に行っている。	100.0%	0.0%

学校運営協議会委員の意見

○登校時のあいさつは、児童によって声の大きさが違うが、あいさつをみんなしている。下校時は、顔を見知っている人にはできるが、見知らぬ人にはできないようだ。

○自主学習は、児童に「こうする」とい。と具体的に詳しく教えてあげるとできるのではない。ノートに決まったことを書くことはできるが、自分で考えて書くことは難しい。「自主学習のすすめ」のようなチュートリアルが大切ではないか。

○学力アップタイムが学力向上につながっていないと考えている先生が多いようだが、15分という時間が短いのか、週に1回という回数の問題なのか、教職員で課題解決のための共通理解が必要ではないか。

○きまりや約束を守れていると答えているが、タブレットやスマートフォンなどの電子メディアの使い方の約束が守れないと答えているようだ。時期やタイミングを見て、学校で指導をさらにしてほしい。各家庭にも約束を周知してはどうか。